

3月14日 児童朝会での講話

先週は、校歌の「まことの道を たゆまずまなび」とは、本当の幸せとは何か、自分を幸せにしてくれるものは何かをいつも考えて学んでいく姿だとお話しました。今週は、その後が続く、「御国の光 あぐるは此処ぞ」を通してお話をします。

「御国の光」とは、我が国日本(にっぽん)の希望という意味です。ですから、「御国の光 あぐるは此処ぞ」とは、皆さんが板橋第六小学校でしっかり学び、大きくなったら「日本の希望」になっていきなさいと言っているのです。

「英国王のスピーチ」という映画が、アカデミー賞に選ばれました。ジョージ6世が苦難を乗り越えて、イギリス国民に勇気を与えるスピーチをする感動の映画です。私たちが生きていく上で、様々な試練があります。しかし、それは必ず乗り越えていくことができます。そのための試練です。ですから、「生きる」とは「闘う」ことです。闘う相手は、弱い自分です。その勇気をくれるのは、身の回りにいる人の励ましです。

リンカーンは言いました。「天才はふみなれた道をよしとせず、まだ誰も歩んだことのない道を求める。」と。皆さんも勇気をもって、自分にしかできないことに挑戦し、社会に大きく貢献する「日本の希望」へと成長してください。

1月17日から始めた校歌を通しての話も、今日で最後になりました。これから校歌を歌うときに、校長先生の話をお出ししてくれるとうれしいです。

先週の金曜日に、大きな地震がありました。これからも、いつ起こるか分かりません。避難訓練で学んだことがきちんとできるよう、先生方の指示をよく聞いて、自分の命は自分で守れるようにしていきましょう。

※本校の校歌は、山口猪祐先生が甚深の思いを込めて作詞されたものです。

1月17日から始めた私の話は、在籍児童に対する現校長としての願いを語ったものであり、校歌の解説ではありません。ご理解の程をどうぞよろしくお願いいたします。